

南貝塚貝層分布の概況

南貝塚の貝層は、現状では全体として馬蹄形を呈しているが、貝層を確認できない部分が二ヶ所あり、北貝塚に接する部分から南西に向かう弧状に分布する部分（北西弧とする）、東傾斜面に近い位置から南側にかけて弧状に分布する部分（東南弧とする）、北西弧と東南弧の間で島状に独立する部分（南西丘とする）に三分される。

II トレンチの土器型式別分布情況

- ・ 称名寺式期以前 顕著な集中地点なし。
- ・ 堀之内1式期 北西弧の外側（3～10）、東南弧にほぼ重なる範囲（73～82）に集中。
- ・ 加曾利B1式期 北西弧貝層東側（14～17）に集中。
- ・ 加曾利B2式期 北西弧貝層東側（15～17）、東南弧のやや内側（73～75）に集中。
- ・ 加曾利B3式期 北西弧貝層東側（16～17）に集中。
- ・ 安行1式期 北西弧貝層東端～窪地（17～21）、東南弧貝層西側～窪地（69～73）に集中。
- ・ 安行2式期 北西弧貝層東端～窪地（18～20）に集中。
- ・ 安行3a式期 北西弧貝層東端～窪地（18～24）、東南弧に接する窪地（67～69）に集中。
- ・ 安行3b式期 北西弧に接する窪地（21～24）、東南弧に接する窪地（62～69）に集中。

土器分布の評価

- ・ マウンド状の貝層形成は堀之内1式期から加曾利B3式期が中心。
- ・ 遺物投棄や貝層形成が低調あるいは行われなかった時期がある（堀之内2式・曾谷式期）。
- ・ 時期を追うごとに遺物投棄は窪地側に移動→堀之内1式期形成の貝層範囲を意識した廃棄行動が晩期まで継続。
- ・ 貝層の形成は、同時に複数の地点で行われた可能性があるが、全域に及ぶものではない。

貝塚の分類

一口に貝塚と言っても、その実態は様々である。千葉市加曽利貝塚や市川市姥山貝塚が、教科書などで一般的なイメージとなっているが、数から言えばそうではない貝塚の方が多い。

貝塚の分類には幾つかの考えがある。地表での貝殻の撒布範囲の数や形から分ける場合（地点・点在（点列）・馬蹄形など）、貝塚を構成する貝が鹹水産と淡水産のどちらが多いかから分ける場合（純鹹・主鹹・半鹹半淡・純淡など）、貝塚の場所が居住地に隣接しているか否かで分ける場合（「ムラ貝塚」・「ハマ貝塚」）などである。

それぞれの分け方には一長一短があり、何を読み取るかによっても異なるから、目的に応じて使い分けるほうが良い。今回は、千葉県の貝塚が縄文時代を通じてどのように移り変わっているのかを、県内の地域性も考慮して概観するため、台地上に立地する貝塚と、低地に立地する貝塚に大きく分ける。

低地の貝塚には、千葉市の神門遺跡（早期～前期）でイルカ類の解体跡と思われる場所があったり、市原市の実信貝塚（中期～晩期）では埋葬人骨やシカの解体跡と思われる場所がありながら貝層中に獣骨や魚骨や骨角器類がほとんど含まれないなど、集落から離れたある種の作業場所らしく思われる例がある。一方茂原市下太田貝塚（中期～後期）は長期間にわたって墓域として使用された遺跡だが、生産活動に用いた石器・骨角器も多く、隣接地に集落の存在が予想される。低地の貝塚の性格は、一括りに捉えられないが、内容を窺える事例が少ないためとりあえず低地型としてまとめた。

台地上にある貝塚は、貝層を作る場所と見た目の印象（貝層が周囲から盛りあがるかどうか）から更に三つに分類した。即ち、台地周囲の斜面に貝層を作る場合（斜面型=1~3）、台地の上で堅穴住居や貯蔵穴などの跡地に貝層を作る場合（窪地型=4・5）、台地の上で貝層が馬蹄形または環状に高まりを見せて中央が窪んだ印象を与える場合（マウンド型=6~9）である。

千葉県の貝塚の変遷と地域性

低地型・斜面型・窪地型・マウンド型の分類を基に、千葉県内の貝塚の時期毎の地域性とその変遷を検討すると次のようになる。

a. 草創期後半～早期

窪地型と斜面投棄型に限られる。分布を見ると、市川市から千葉市にかけての内房地域北部・館山市近辺・佐原市から小見川町にかけての利根川下流域に集中しており、内房地域北部では窪地型が、他二地域では斜面投棄型が目立つ。

佐原市の鶴崎貝塚⁽¹⁾は千葉県教育委員会による1995年の調査でも明確な遺構は検出されていないので斜面型であろう。小見川町の城ノ台貝塚⁽¹⁾も斜面型と判断する。船橋市飛ノ台貝塚は、廃絶した炬穴に対する窪地型と捉えられ、佐倉市の上座貝塚⁽⁴⁾も同様である。

b. 前期

窪地型が目立ち、また千葉市神門遺跡や宝導寺台貝塚など低地型の存在も目立ち始める。窪地型は野田市や松戸市を含めた内房地域北部に集中し、唯一の斜面型は利根川下流域に神崎町植房貝塚⁽²⁾一例のみ知られる。前段階の地域的な傾向を踏襲しているのであろう。

市川市上台貝塚は台地平坦部に直径数m~10m程の地点貝塚が点在し、住居などの跡地に対する窪地型であろう。松戸市幸田貝塚も調査の及ぶ範囲では同様である。

c. 中期

窪地型は千葉市から船橋市・市川市・松戸市を経て流山市・野田市にかけて、斜面投棄型は利根川下流域を中心に分布し、前々・前段階を踏襲している。ただし、千葉市有吉北貝塚は大規模な斜面型で、従来からの内房地域のあり方に変化が生じているし、利根川下流域では貝層の規模の大きなものが目立つようになる。更にマウンド型の加曽利北貝塚⁽⁶⁾（上側）が出現するなど、変化が生じていることが窺える。

窪地型として、松戸市子和清水貝塚・中峠貝塚⁽⁴⁾・市原市草刈貝塚⁽⁴⁾などが代表的な事例である。子和清水貝塚・草刈貝塚はほぼ全面に及ぶ調査の結果、廃絶した住居の跡地に貝層を作る窪地型と確認できている。

斜面型には小見川町阿玉台貝塚・白井大宮台貝塚^(1・3)・木之内明神貝塚のように大規模な貝層を複数形成するものと、佐原市三郎作貝塚・下小野貝塚・八日市場市八辺貝塚のように、1~数か所の小規模な貝層に限られる例がある。台地平坦面が広いと大規模になり、狭いと小規模

となる傾向がある。

d. 後期～晩期

内房地域の木更津から市原・千葉・船橋・市川・松戸・流山・野田・関宿（一部江戸川対岸の埼玉県杉戸町・昭和町）にかけて、マウンド型の貝塚が高密度で分布し、その合間に大規模な斜面型の貝塚が認められる。

マウンド型の典型的な事例として野田市野田貝塚・松戸市貝の花貝塚・市川市姥山貝塚（8）・曾谷貝塚・千葉市加曾利南貝塚（6下側）・積橋貝塚・園生貝塚・誉田高田貝塚・六通貝塚・袖ヶ浦市山野貝塚等があり、一部斜面に形成する貝層と併せて馬蹄形を呈するものに流山市三輪野山貝塚・市川市堀之内貝塚・市原市西広貝塚（9）などがある。また千葉市小金沢貝塚（7）は堀之内1式期を中心とした短い期間に形成を終えた貝塚と判明しているが、完全な馬蹄形となるまえに形成が止まってしまったマウンド型の貝塚と思われる。

一方小金沢貝塚に近接する千葉市木戸作貝塚は、舌状台地の先端と左右の斜面に大規模な斜面型の貝層を形成しつつ、付け根に当たる台地平坦部には貝層を形成しない。

上記のような内房地域の状況に対し、利根川下流域や外房地域ではマウンド型は見られず、小見川町良文貝塚や芝山町・多古町にまたがる境貝塚など、大規模な貝層を形成する場合でも斜面型である。その一方で銚子市余山貝塚・大網白里町上貝塚貝塚・茂原市下太田貝塚・渋谷貝塚・一宮町一宮貝塚貝塚など低地型の貝塚が目につくようになる。

内房地域の貝塚は、後期の後半から晩期の前半には貝層の形成を終えるが、利根川下流域では晩期後半（一部研究者は弥生時代とする時期まで）でも貝層を形成しており、成田市荒海貝塚は斜面型の大規模な貝塚だが、下総町大原野（龍正院）貝塚や成田市荒海川表遺跡・宝田鳥羽貝塚など低地型が目立つ。

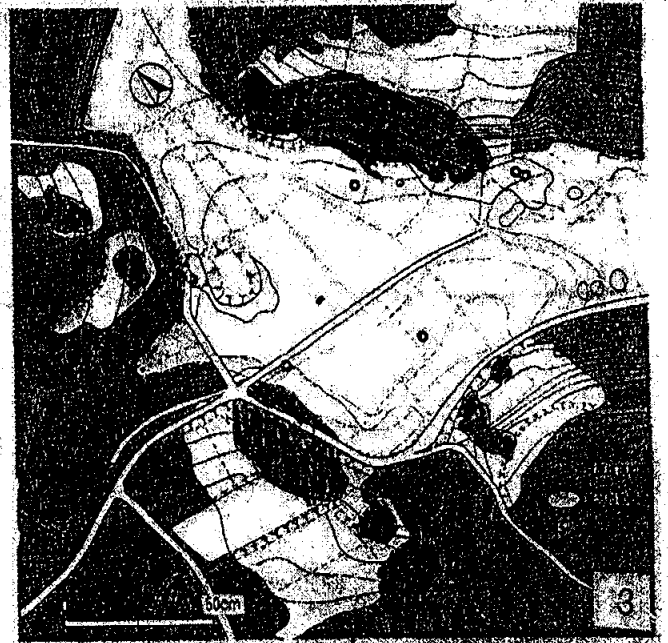
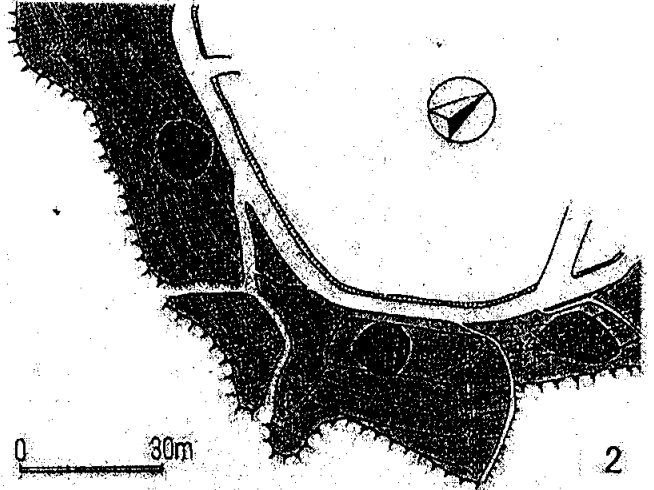
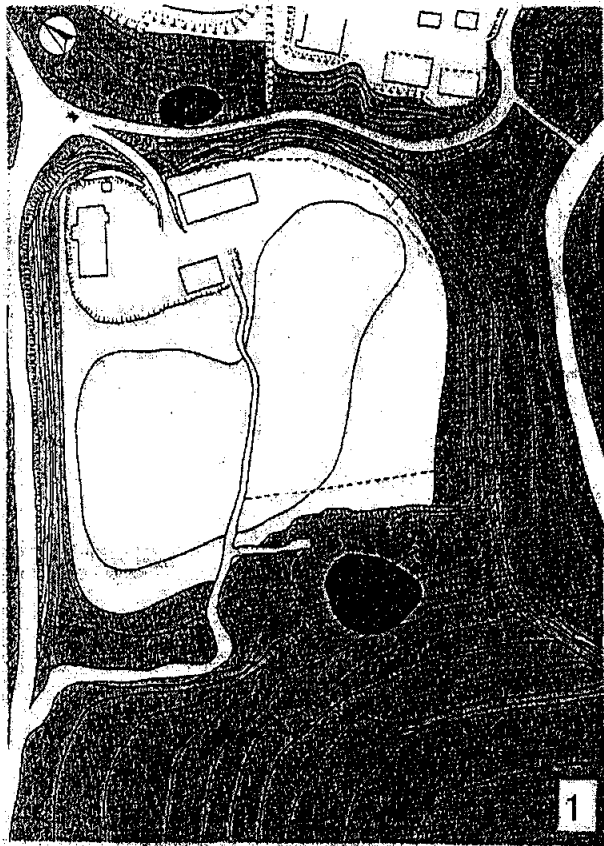
以上をまとめると、千葉県でも貝塚が集中する内房地域と利根川下流域では、窪地型と斜面型という形で当初から地域的な特徴を示していたが、中期それも後半期（加曾利B式期）に変化が生じた。

内房地域での斜面型とマウンド型の出現であり、続く後期にはマウンド型が主・斜面型が従で、大

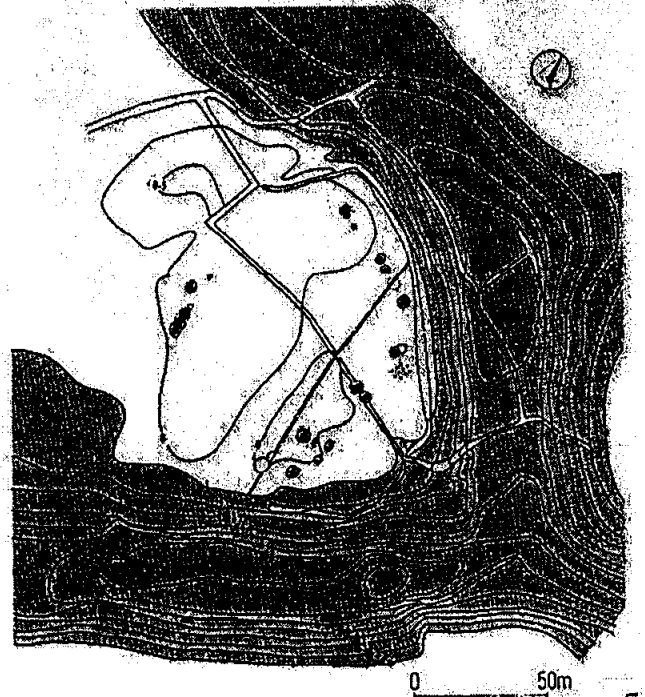
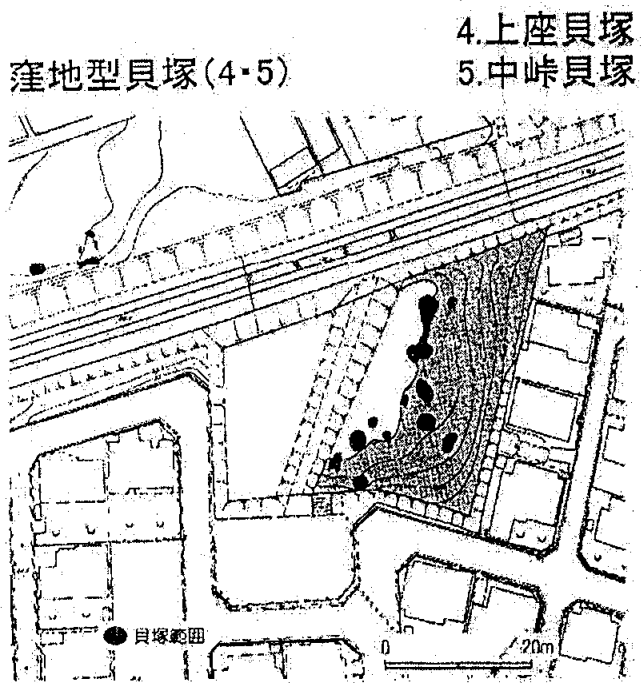
規模な貝塚が連なる「貝塚ベルト地帯（木更津市から埼玉県の杉戸町・昭和町にかけて全国的にも稀な大規模な貝塚の密集状況について考古学界で古くから言いならわされた形容）」を形成するが、その時には従来この地域で多数派であった窪地型はほとんど姿を消し、あったとしても小規模なものとなっている程、一変したのである。

逆に利根川下流域や外房地域では、内房地域での貝塚のありようが大きく変化した中期後半期にはほとんど貝塚を形成していない様子で、後期以降再び貝塚を形成するが大規模な例は限られ、従来ほとんど例のなかった窪地型も小規模な例ばかりだが数を増やす。そしてマウンド型を主体に隆盛を極めたかに見えた「貝塚ベルト地帯」で貝塚が途絶える晩期中葉以降でも、限られた数であっても貝塚形成は続いていく。

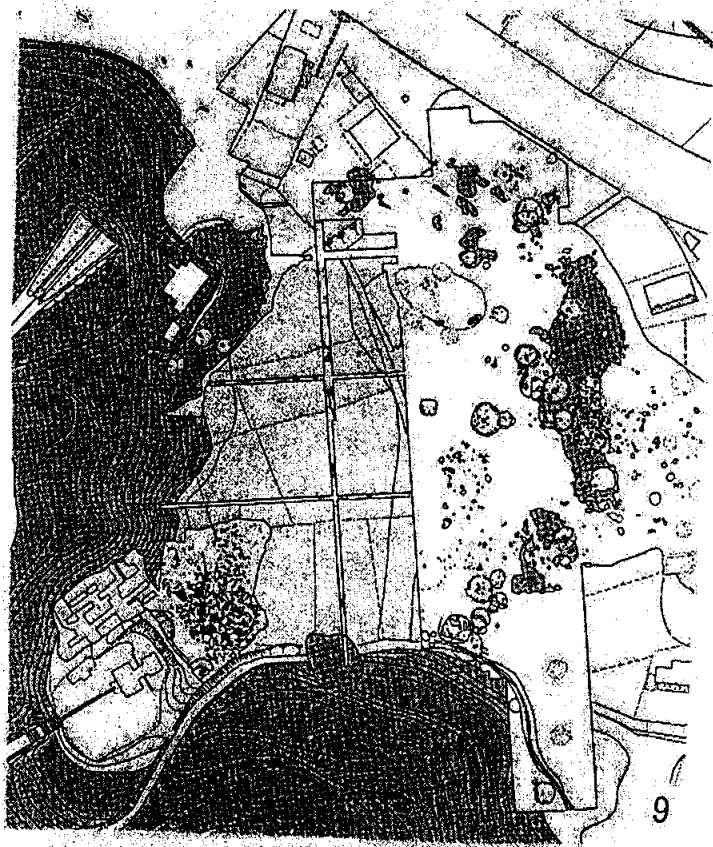
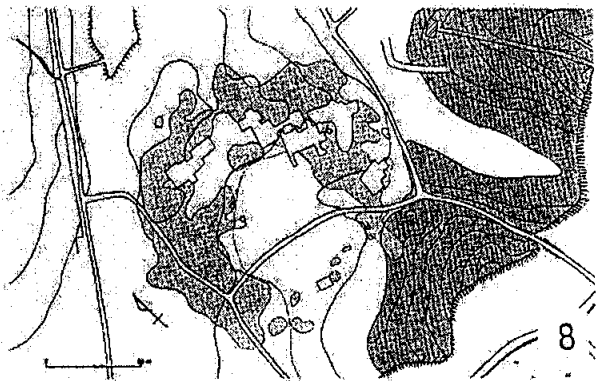
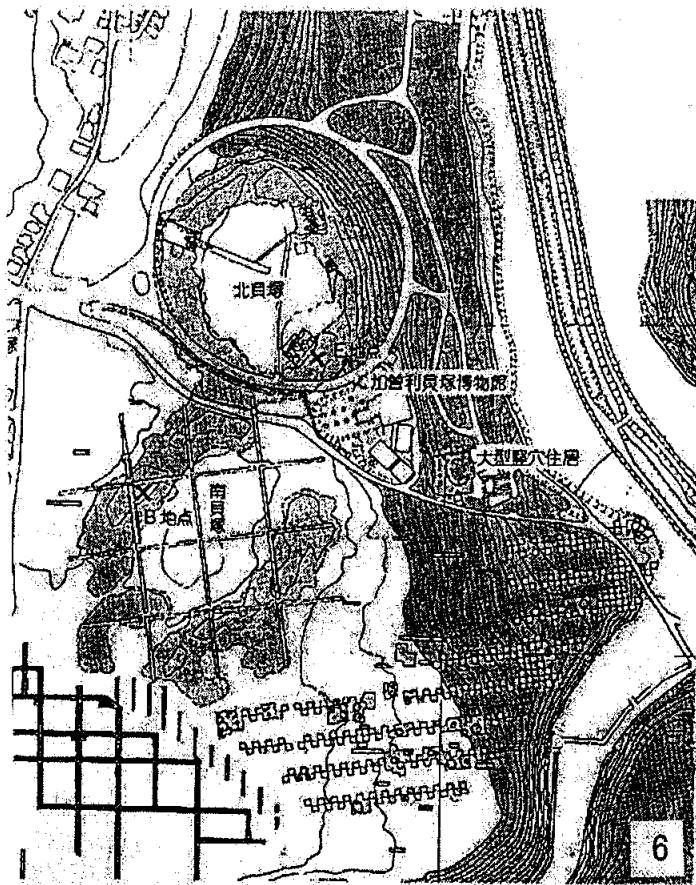
以上見てきた千葉県の貝塚の変遷は、特に内房地域で後期中葉から晩期初頭まで存在感を放つマウンド型の意味を、改めて検討する必要性を示しているだろう。近年注目を集める「環状盛土遺構」と併せた検討が求められるが、その成果は他の貝塚や貝塚を伴わない集落の理解をも導くものと期待したい。



斜面型貝塚(1~3)
 1.城ノ台貝塚
 2.植房貝塚
 3.白井大宮台貝塚



窪地型貝塚(4・5)
 4.上座貝塚
 5.中峠貝塚



マウンド型貝塚(6~9)

- 6. 加曾利貝塚
- 7. 小金沢貝塚
- 8. 姥山貝塚
- 9. 西広貝塚